

## 海洋調査船「なつしま」と無人探査機「ハイパードルフィン」 函館一般公開について

海洋研究開発機構（理事長 加藤康宏）は、下記のとおり函館港西埠頭において海洋調査船「なつしま」と無人探査機「ハイパードルフィン」の一般公開を実施しますのでお知らせいたします。函館国際水産海洋都市構想の国際シンポジウム「国際的な水産・海洋研究拠点都市の形成を目指して」の一環として函館市より協力要請を受けて実施するもので、同日時同場所において北海道教育庁実習船「若竹丸」の一般公開も行われます。

### 記

1. 日時： 平成18年9月30日（土） 10：30～15：00（受付終了）
2. 場所： 函館市 西埠頭（函館市弁天町）  
市電「どっく前」行き「大町駅」より徒歩10分 \*見学者用の駐車場はありません。
3. 費用： 無料
4. 主催： 函館国際水産・海洋都市構想推進協議会（函館市企画部企画管理課）  
協力： 独立行政法人海洋研究開発機構／北海道教育庁
5. その他： 1) 悪天候等により中止となることがあります。  
2) 船内は段差が多く危険なため、ハイヒール・サンダル等での、または酒気を帯びての見学はご遠慮ください。  
3) 小学生以下は、保護者が必ず同伴ください。

一般の方の問合せ先：

独立行政法人海洋研究開発機構 海洋地球情報部広報課長 柴田 桂  
TEL：045-778-5440（代表）

報道関係の方の問合せ先：

独立行政法人海洋研究開発機構 経営企画室報道室長 大嶋 真司  
TEL：046-867-9193（直通）

---

### ※【参考資料】

#### ・海洋調査船「なつしま」

全長 67.4m、巾 13.0m、高さ 6.3m、総トン数 1,739トン  
様々な観測機器を搭載し、深海・海溝域の総合的な調査観測研究を行うことができます。また、最大潜航深度3,000mまで潜航調査することができる無人探査機「ハイパードルフィン」の支援母船としても運航しています。  
かつては、水深2,000mまで潜れる有人潜水調査船「しんかい2000」の母船として活躍していました。詳細は次のホームページをご覧ください。

<http://www.jamstec.go.jp/j/about/equipment/ships/natsushima.html>



無人探査機「ハイパードルフィン」

全長 3.0m、巾 2.0m、高さ 2.3m、空中重量 約3,800kgf

高解像度ハイビジョンカメラを備え、水深3,000mまでの映像を撮影できる水中ロボットで、2005年2月に行われたスマトラ島沖地震緊急調査では、大規模な亀裂や崩落を世界で初めて確認しました。

マニピレータ2機の使用によるサンプル採取、観測機器の設置と回収も可能です。

詳細は次のホームページをご覧ください。

<http://www.jamstec.go.jp/j/about/equipment/ships/hyperdolphin.html>

